

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【公開番号】特開 2016-48750 (P2016-48750A)  
 【公開日】平成 28 年 4 月 7 日 (2016.4.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-021  
 【出願番号】特願 2014-173631 (P2014-173631)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2014.01)

H 0 1 L 31/0445 (2014.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 5 0 0

H 0 1 L 31/04 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 31 日 (2017.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の太陽電池パネルで構成される太陽電池モジュールであって、

第 1 の太陽電池パネルと、

第 2 の太陽電池パネルと、

前記第 1 の太陽電池パネルと前記第 2 の太陽電池パネルとを連結する非導電性の基板と

と、  
 前記第 1 の太陽電池パネルと前記第 2 の太陽電池パネルとを電氣的に接続する配線部材と、

を備え、

前記第 1 の太陽電池パネル及び前記第 2 の太陽電池パネルの対向する互いの辺が、凹凸形状を含む、互いに嵌合する形状であり、

前記対向する互いの辺の間に間隙を有し、

前記配線部材は、前記基板の外側に配置されることを特徴とする太陽電池モジュール。

【請求項 2】

前記凹凸形状は、前記基板の第 1 端と第 2 端とを結ぶ線分に沿って前記第 1 の太陽電池パネルと前記第 2 の太陽電池パネルとが折れ曲がることを抑制し、

前記間隙は前記線分と交わる第 1 の方向と、前記線分に沿った第 2 の方向と、に沿って延びることを特徴とする請求項 1 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 3】

前記太陽電池パネル側から平面視した状態において、

前記太陽電池パネルが有する面積と前記基板が有する面積とでは、前記太陽電池パネルが有する面積のほうが大きいことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 4】

前記第 1 の太陽電池パネル、前記第 2 の太陽電池パネル及び前記基板の少なくとも一方に貫通孔を有し、

前記複数の個片の各々において、前記貫通孔から所定の距離以内となる領域の表面の高

さが揃えられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 5】

前記貫通孔は前記基板に設置されていることを特徴とする請求項 4 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 6】

前記第 1 の太陽電池パネル及び前記第 2 の太陽電池パネルの各々は、導電性を有する支持基板と、半導体層と、前記半導体層上に形成された透明導電膜層と、を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 7】

前記第 1 の太陽電池パネル及び前記第 2 の太陽電池パネルは電氣的に直列に接続されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 8】

前記第 1 の太陽電池パネル及び前記第 2 の太陽電池パネルの各々の発電可能面積は互いに同一であることを特徴とする請求項 7 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 9】

文字盤と、

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の太陽電池モジュールと、  
を備えることを特徴とする時計。

【請求項 10】

前記太陽電池パネル側から平面視した状態において、

前記太陽電池モジュールの面積は前記文字盤と等しいかまたは小さいことを特徴とする請求項 9 に記載の時計。

【請求項 11】

請求項 4 に記載の太陽電池モジュールを備え、

前記貫通孔は、時計の針を設置するためのものであることを特徴とする時計。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の太陽電池モジュールを備えることを特徴とする電子機器。